





# 卒業



答えを見つけるのは誰かじゃなかった  
ボクたちが大人になること  
それは泥の中で眠っても変わりはしないんだ

———こんにちは、センチメンタル

A black and white photograph of a desk with a pen, a ruler, and papers, with the Japanese characters '卒業' (Graduation) overlaid in white. The background is a blurred desk with a pen, a ruler, and papers. The text '卒業' is written in a large, white, serif font, centered vertically and horizontally. The characters are '卒' (sotsu) and '業' (goku), which together mean 'graduation' or 'completion'.

卒業

やっぱり苦しいよ  
マンガを描くのは

この間地元  
帰ったんだけどさ  
会った友達が  
言うんだよ

“マンガ家目指して描き続ける  
並木は偉いよ  
専攻の大学まで行って  
夢を追うのは羨ましい”って

……  
どこがだよって  
思った

早々に大手銀行から  
内定もらったお前が  
なんで  
ボクを褒めるんだよ  
偉いのはお前だろって

……そうしているうちに  
あと数カ月で卒業だ

たった一回の受賞と  
担当がついてるって  
ことだけを支えに  
先の見えない未来に  
自分を投げ捨ててる

そのくせ  
描き上げなきゃいけ  
ない  
卒業制作のマンガは  
まだ白紙だ

白村室  
270

6F  
全  
2

6F

はじめまし  
1980



……何やってんだ  
って思うよ



ここで投げ出すのは  
情けないし  
引き返す道もないから



でも  
やらなきゃ  
いけない

自分で選んだ  
道だから









地元  
帰るんだよね

地元  
どこだっけ?

仙台



……じゃあ  
今年は大変だったね

まあね

お父さんのビール  
崩れちゃったし



……やだ  
並木が気にすること  
ないよ

私夏休み以来  
大学  
行ってなかったから

並木も雑誌用の  
ネームで  
忙しかったんでしょ

お互い一回も  
会ってなかったんだから  
知らなくて当然だよ



……そっか

……でも  
卒制は  
大丈夫なの？



……え？



やんなくて  
いいよ

だって私もう  
中退しちゃってる  
から



.....君も  
新入生？



たばはな ちか  
東花 千佳  
☆1年☆



中  
入らなくて  
いいんですか？



が  
多分  
学科  
新  
入  
生  
→



知り合った子に  
この大学に入った  
理由を聞いたんです

“ そしたら  
いや  
ただの流れで  
つて返されました ”

そしたら周りも  
私も私もつて  
……




その空気に  
愕然として  
居られなくなっちゃった……




それは  
ムカつきますね




……




私マンガ家にな  
りたいんです




選んだんです  
自分の道を




マンガ描くの  
好きだし



それ以外の自分が  
想像できないから



…だから私は  
あんな人達には  
ならない



絶対に  
叶えてみせる



じゃないと  
情けない



これで  
少しは真面目に  
生活できそうだ

真剣な人を  
見つけられた



あ  
本当はボク  
さつきまで駅前に  
居たんですよ

好きなバンドの  
CDの発売日  
だったんで

インディーズ  
扱ってる店  
なかなかなくて…



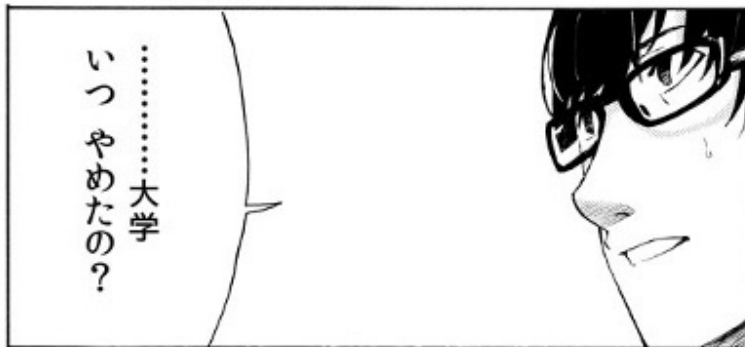
……

良かった



…ボク  
並木って  
います









震災で  
いろいろあってね

4億の  
負債だって



お父さんから  
聞いた時は  
冗談かと思ったわ

各フロアに  
水槽があつてね

ソレが割れて  
水浸し

腐った内臓が  
転がってると思ったら  
それは腐った  
サングゴでさ

でも冗談じゃなくて  
実際に会社のビルは  
滅茶苦茶になってた

がんばろ  
東日本大産



私の家  
米穀店なの

放射能が  
どうこうの中で  
更にTPPでしょ?

未来が泥沼に  
沈められた  
気分だった



今思えば  
去年までの私って  
おとぎ話みたいに  
満たされてたなあ...



マンガでの  
苦しみしか  
ないなんて  
贅沢極まり  
なかったよ

私思うの

マンガを描き続けられる人ってのは目の前が真っ黒になる衝撃があっても描こうとする人だって

取った賞とかどうでもよくなった

だからさっさと辞めちゃった

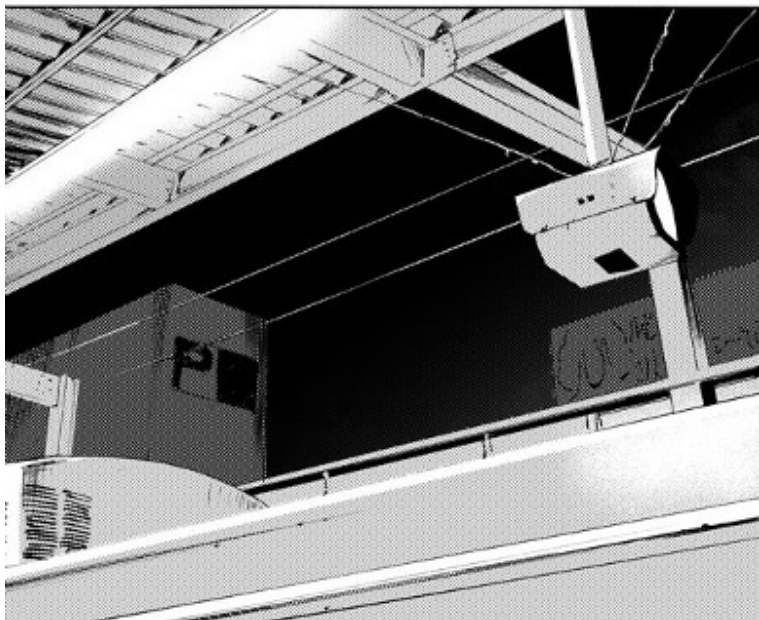
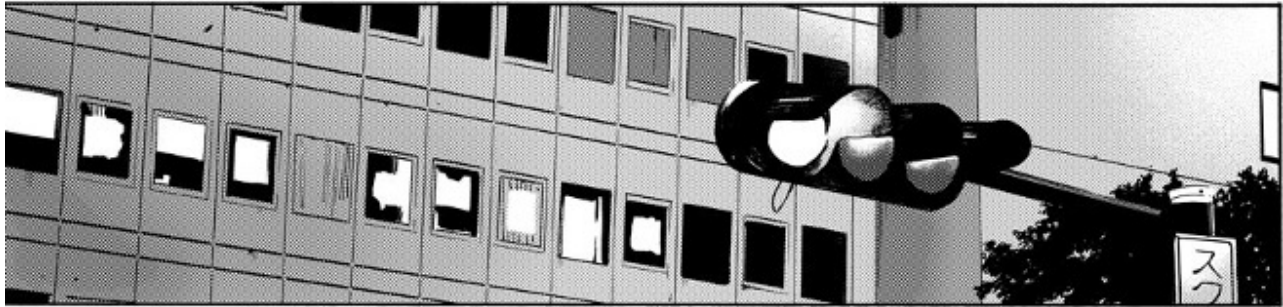
だって続けてもどうせまた辞めちゃうもん

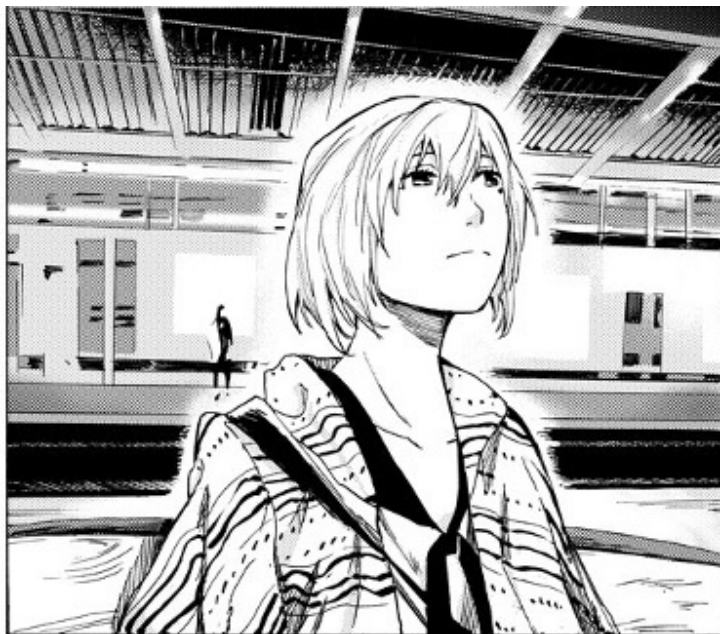
それが  
“本当に好き”  
ってことなんだと

だから  
震災のごちやごちやで描かなくなった私は  
所詮その程度の  
“好き” だったんだ



……見ものね







ボクと  
東花

もう  
会わないかも  
知れないじゃないか



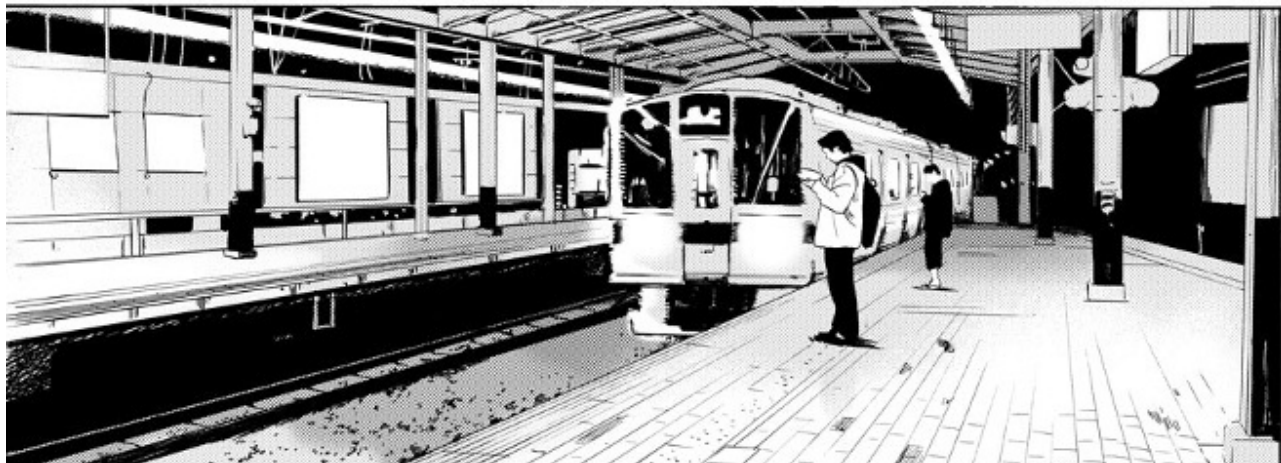
今日でもう  
ここに来る予定は  
消えたんだろ？

マンションの  
解約手続きが  
終わったから

ならもう  
会う予定は  
ないじゃ  
ないか



……だから  
言いたいことが  
あるうちに  
言っておく





…なんか  
納得できねえよ

なあ東花  
マンガ描くのになんかそんなに  
『好き』が  
必要なのか？



でも  
描けば描くほど  
自分の無能さを  
思い知って…

今じゃ  
描くのが辛くて  
逃げてばっかだ

入学したては  
楽しかった



正直ボクは  
描いてて  
死ぬほど楽しい時  
なんかなかった

賞取った時も  
テストの赤点を  
免れたくらいのも  
安堵感しかなくて

東花が  
正しいなら  
ボクはすでに  
破綻してる  
じゃないか

…でも



辞めようとは  
思わないんだ



束花

どこに行っちゃって  
衝撃は来ると思う



マンガ家だろうが  
サラリーマンだろうが  
大学生だろうが…

そういう衝撃は  
訪れるんだ

そしてその衝撃は  
生きてる限り  
断続的に  
訪れるはずなんだ

…ボクはマンガを  
辞めたからって  
マシになるとは  
思えない

じゃなきや  
“壁を乗り越えた後は  
ずっと幸せでした”

なんておとぎ話が  
現実に  
なっちゃうだろ

そんなの  
リアルじゃ  
ないだろ

好きじゃなくなったら  
立ち向かえないとか

そんなの通用  
するわけない





おとぎ話

……か



居酒屋で私が  
口にした言葉を  
伏線として利用したわね



?



私ね

この世界が  
マンガだったら  
どうなるのかなって  
思うのよ



……?

別にそんな  
つもりじゃ





面白いと  
思うわ

そこら中の人  
全部に物語がある  
そんなマンガ

現実ほど  
感傷的になれる  
ものはないもの

私今まで  
そんなスタンスで  
描いてたの



現実を表現すれば  
読者が傷付くくらい  
感情移入してくれるって

……満足いくものは  
結局できなかつた  
けど

…いつからかな

この世界を  
マンガ化してる時  
脳内では並木から借りた  
音楽が流れてるの

感傷的で  
哀しくて  
でもどこか  
前向きで……

今だったら私たちが  
キャラクターとして  
今日返した曲が  
流れてるわ

多分この感覚は  
誰にも  
伝わらない  
でしょうね

それを  
マンガでやるのは  
不可能だし

——でも  
私はこの感覚が  
死ぬほど好きなの





...  
そうよ  
並木

私は  
満足してるんだ

本当に好きだと  
思えるものが  
見つかったこと



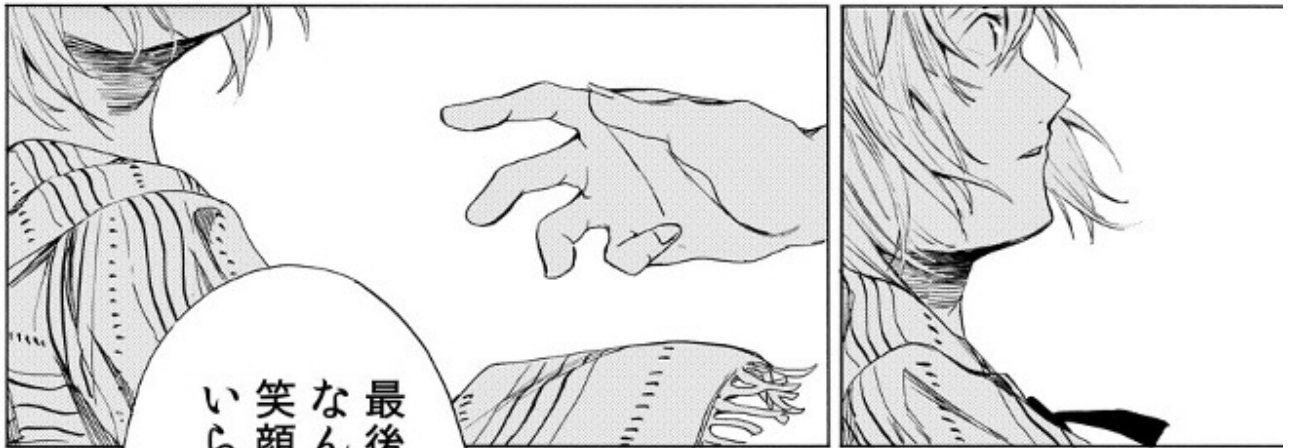
それを抱えて  
生きていくことに  
今は喜びすら  
感じている

だからマンガを  
描かなくなっちゃって  
私は大丈夫なんだ



ねえ  
ようやく今  
心が決まった  
気がするわ

ありがとう  
並木





ボクだって  
今日笑いたかった!!

東花と  
少しでも話して  
気を紛らわしたかった!!

でもやっぱり  
見えてくるのは  
これからの不安で

苦しさで

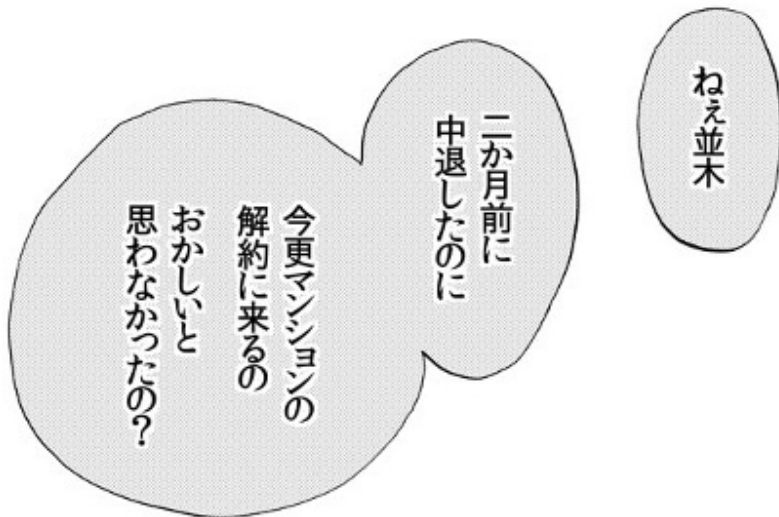
それでも  
負けちゃいけない  
辛さで…

なんで

なんでボクよりも  
酷い目に合ってる  
東花が幸せそうに  
笑えるんだよ!?













……なんて  
展開だったら  
リアルじゃないよね



……東花？

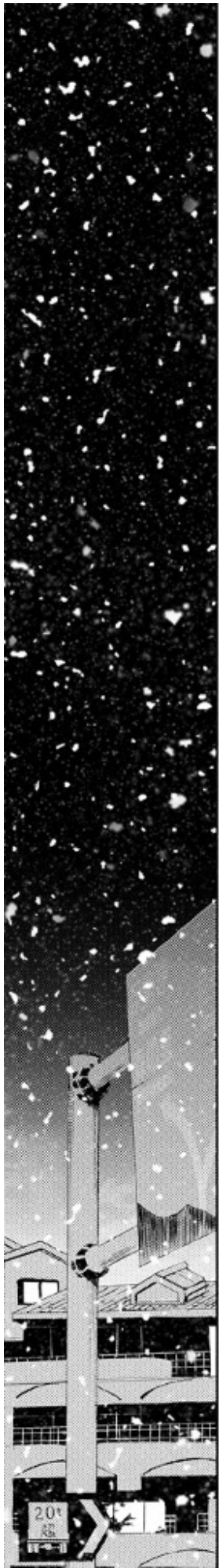


だから今のうちに  
言っておくね



大丈夫だよ  
きつと

……

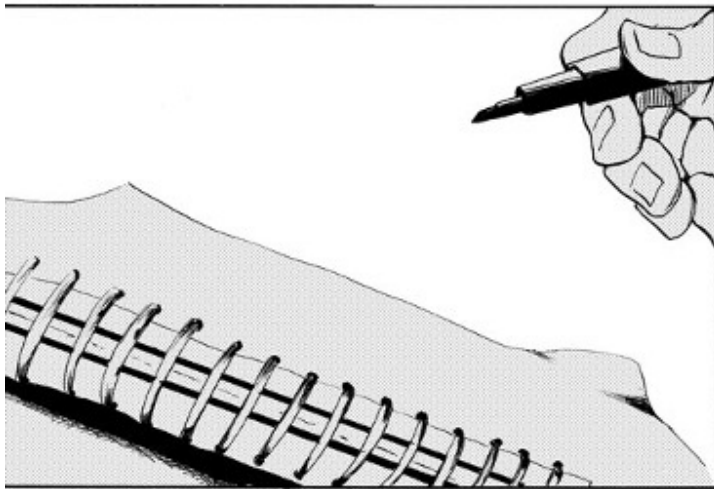
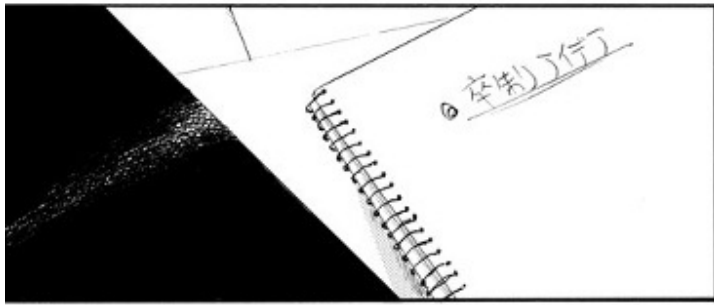








それで  
生きていくよ





こんにちは  
センチメンタル



卒  
業

-fin-

## あとがき

この作品「卒業」は、2011年度卒のボクの卒業制作です。ボクが卒業制作に着手したのは、~~メ~~切の二ヶ月前のことでした。でも、将来への不安とか現状に対する憤りとかそういうもん全部を表現したかったボクの筆は、迷走し、全く進みませんでした。何を描いても自分に嘘をついているような気持ちになったからです。

・・・ならばいっそのこと卒制が描けない自分を卒制として描こう、そう開き直った先に出来上がったのがこの作品でした。  
(主人公をイケメンにしたのは仕方なく、です)

それでも、作品が完成した後でも、暇あればボクは彼らのことを考えているようです。

東花は向こうでいい人に会えるのかな、とか  
並木はいつマンガで成功できるのかな、とか

まあ結局、彼らも最後まで悩み苦しむんでしょうけど。  
でもたまには、

「こんにちはセンチメンタル」

で救われたっていいのかな、そう思っています。

※作中でTPP政策をマイナスとして描きましたが、これは作中のキャラクターにとっては不安要素である、というだけですので、政治批判ではありません。ご容赦ください。